

平成30年度

事業計画(案)

障がい者就労センター ウィルアークス  
就労継続支援A型事業

## 目 次

1. はじめに
2. 施設理念
3. 運営方針及び運営目標
4. 利用者支援方針及び支援目標

## ウィルアークス事業計画

### 1. はじめに

平成 30 年度の事業計画として、現行の事業の拡大と共に、印刷事業の新規の取り込み・新規事業の開拓を行い、安定した作業量を確保し収益増を目指していく。利用者の方により高い賃金お支払いし、経済的自立が出来る様支援を行う。また、研修やケース会議等の頻度を増やし、職員の支援や生産性への意識の向上を目指していく。その他の課題としては、高齢化・過疎化が進む地域の中で、今まで以上に近隣の農家・農業法人・牧場などへ労働力を提供することや行事等に参加し地域に貢献し、事業所自体も地域になくはならない事業所となるような事業運営を行いたい。

### 2. 施設理念

ウィルアークスは、利用者の皆様に対し一般企業に比べ何ら遜色ない明るい作業環境と設備を提供し、一人ひとりのニーズを的確に捉え、個々のニーズに合わせた福祉サービスの提供を的に取り組んでいく。また個人の尊厳を第一に留意し、経済的自立の為に賃金確保はもちろんのこと、地域生活能力や、身体機能の維持向上などの個々のライフスタイルに合わせた具体的支援やサービスの提供を個別の支援計画の下行っていく。

また支援する職員及び利用社員と共に、「共に支え、共に生きる」という理念のもとに付加価値の高い運営を目指す。

### 3. 運営方針及び重点目標

当事業所は、雇用関係の基に利用者への就労支援を行っており、体調管理や労働衛生管理面に十分な配慮し環境整備に努め、生産活動を通じて就労支援に取り組んでいく。

支援内容は個々のアセスメントによる課題やニーズを的確に捉え、その課題解決に向けた目標設定を個別支援計画で作成し、サービス管理責任者を中心に支援サービスの充足を計る。支援実施に当たっては個人の尊厳を第一に個々が望むライフスタイルの構築の為に、それぞれの課題やニーズを解決に向けた目標を定め取り組んでいく。様々な要望に対応できるように職員朝礼・終礼やケース会議等を積極的に行っていく。

#### 利用状況

##### 【就労継続支援A型】

定員 20 名 現況 18 名利用中

- (1) 稼働率 100%をキープできるよう努め、障がいの多様性に対応するべく、職員の専門性を向上し研修や学習会等で学んだ知識を活かし、社員の皆様への賃金アップを行う。
- (2) サービス提供日は、月曜日から金曜日を中心に年間変形労働時間とし、就業時間は 8:30 から 17:30 までの 7.5 時間を基本とする。作業内容としては、印刷事業・プラスチック粉砕作業・木材加工作業・製函作業を中心とする加工事業。農作業・除草作業・清掃作業等の役務提供事業を展開する。作業配置に関しては、本人の要望を聞き、能力に応じた配置を行い、作業評価や適性能力により個々に支援を行っていく。
- (3) 利用社員の健康管理については、日々の健康管理は社員朝礼時に行い、年度ごとの定期健康診断を実施し健康管理に努める。
- (3) 事故防止及び防火対策については、ヒヤリハット報告書の活用により日々自

己点検を行い事故防止に努める。防災対策は30年度の消防計画に基づき利用社員・職員への周知と教育を行うと共に避難訓練計画に沿って避難訓練を実施する。

(4) 個別支援計画の策定については、利用社員のニーズや課題を主体としながら、具体的な支援計画書をサービス管理責任者が作成し支援会議を実施する。職員で周知徹底しながら個別に支援していく。

(5) 支援者でもある職員には、事業所内外の福祉に関する研修会を始め、受注先における作業研修等も積極的に参加させることにより業務上必要な知識や技能の習得に努め、サービスの向上を計る。(県外の研修会については前年度同様、事業所の経営状況にて参加の有無を決定する) 職員朝礼・終礼を毎日実施し、支援内容や作業の申し送り等を充足させ、作業日報や各種作業面の管理帳票等の記載を義務付ける。その中でチームワーク能力や専門的知識の共有化・資質の向上をはかる。

#### 4. 各事業計画

当事業所における事業経営は、印刷事業・プラスチック粉砕事業・製函事業・役務事業をこれまで主体として行ってきた。今年度より、新しく合板カット及び木材パレット製作作業に取り組んでいく。継続して従来 of 事業の目標達成を図りながら、新たな事業にも取り組んでいき、売上の向上を目指していく。

##### (1) 印刷事業

現状の法人内各事業所、産山村等の公共施設からの受注を継続していただけるよう、これまで取り組んできた品質管理を意識しながら、印刷事業に取り組んでいく。また、優先調達法などを利用し、積極的に営業活動を行い新規顧客

の開拓に努める。

他の印刷業者の作品を参考にしながら当事業所での新しい製品作りにも挑戦する。顧客のニーズに対応できるよう担当者のスキルアップの為の研修等にも参加を行う。

## (2) 加工事業

### ア プラスチック粉砕作業

安定した受注が得られるよう、チェック体制・清掃を強化し混入での不良やクレームがないよう取り組んでいく。作業場のレイアウトの見直しを行い、少ない人数で作業の効率化・生産性の増加を目指していく。同時に、機械を扱う作業の為、徹底した安全管理体制を構築していく。

### イ 製函作業

取引先業者とも連携し受注量の増加を目指す。その為に、生産性の向上を図り取引先のニーズに合わせることでできる体制を作る。

### ウ 木材加工作業

昨年末より新規で取り組みを開始している。合板をパネルソーで指定の長さに切断する作業。また、切断した板を各品番ごとに専用治具を用いてパレットのケタ打ちを行う作業の2工程を行う。取引先と連携し、週一回のペースで搬入・搬出を行っていく。早い段階で利用者の方々が作業に取り組めるよう、作業指示書等も写真入りのわかりやすいものを作製し、作業スピードの均一化を図る。

## (3) 役務事業

公共施設・一般企業、法人・個人住宅等のワックス清掃・壁紙／クッションフロアの張替え作業。近隣の牧場や畜舎内などの清掃作業。法人施設・個人宅の除草作業等を行う。今年度も積極的に営業活動を行い、受注拡大を計る。同時に、新規の役務を獲得する為、人材育成にも取り組む。

